

## 自発活動を中心とした実践的研究

北島 光子・武川 明子

中山 弘子・小林 律子

渡辺 郁美

### 一、はじめに

子どもの自発性という問題が、幼児教育の重要な課題であることは、フレーベル、倉橋惣三、平井信義ら、多くの人々によって主張されてきたところである。

今日、私達の保育現場では、幼児期の月齢や生育歴による個人差が極めて大きいため、それぞれの子どもの自発性を尊重しながら、集団としての生活をどのようにに発展させていくかという保育方法の問題が課題となっている。子どもが、どのような場でどのように自発性を発揮

するか、実践的かつ具体的に捉えなければならぬことを痛感して、この研究に取り組んだ。

今回発表した「自発活動を中心とした保育の実践的研究」は、東京都足立区教育委員会研究奨励指定園として二年間の継続研究の成果の一部を報告したものである。

### 二、研究方法

本研究は、中沢和子らによる自発的集団活動の展開の要因についてという一連の保育方法研究に学びながら、園での日常の子どもの行動を、自然観察法によって分析

し、幼稚園教育における保育方法の実践的研究を試みようとした。次のような三つの保育年限の異なる子どもの自発活動を観察し、結果を考察する。

### 三、研究内容

1、幼児のタイプと活動の特徴——入園初期の四歳児の行動分析——

幼児期は特に、生育歴や月齢による差が大きいため、集団生活の中で、一人一人の子どもの自発活動を尊重し同時に集団としての生活を発展させることが、実践上の課題である。現場で一人の担当が30名—40名の子どもを受けもつときに、どのような保育形態をとればよいかという点も、大きな問題である。そこで、入園当初の子どもの自発活動を観察し、個人差の現われを把握することに重点をおいた。ここでは、子どもの登園直後の行動を中心に観察を進めた。この時間帯は子どもの行動が制約されずに、遊具や教材と自由にかかわって最も自発行動を起しやすい状態にあると考えたからである。

観察結果…観察した行動をまとめたものが表1である。生育歴や月齢等とは関係なく、子どもの行動にいくつかのタイプがあることがわかった。

第1群（Aタイプ）新しい遊具に興味をもち、自分からかかわって遊ぶ。

第2群（Bタイプ）友達の遊びを見てから遊び始める。

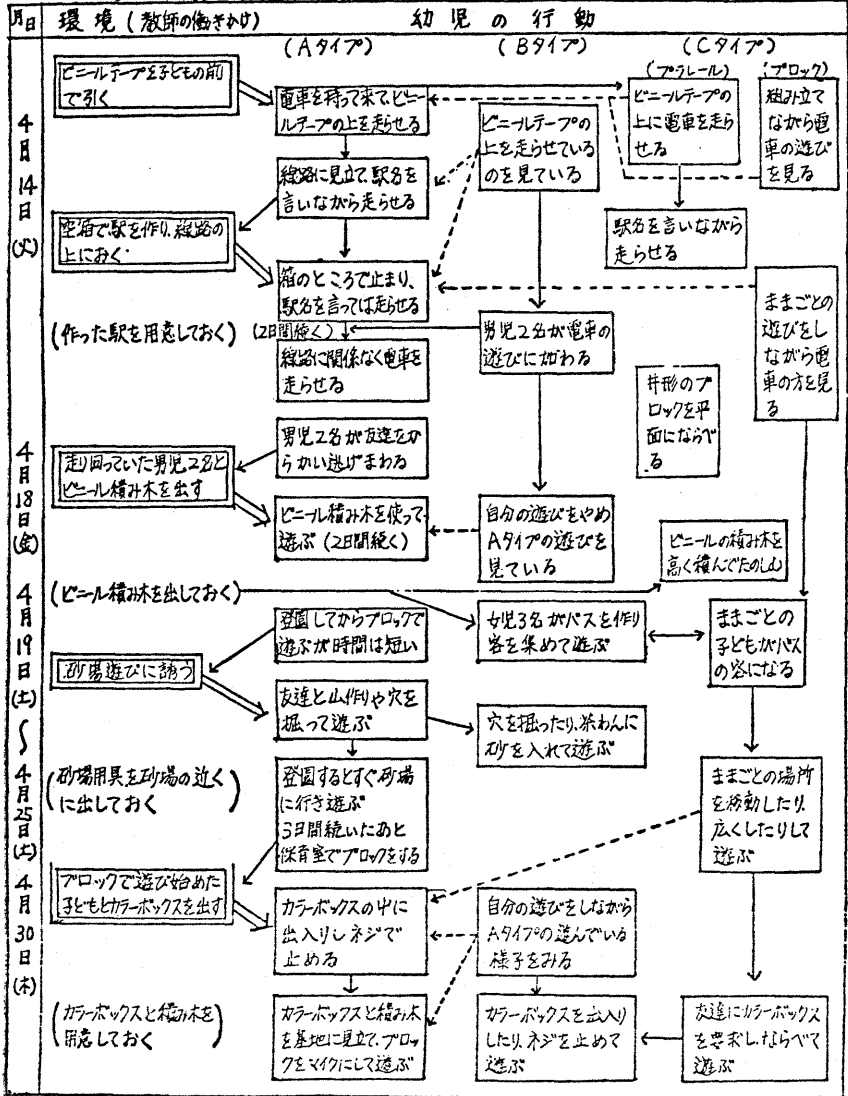
第3群（Cタイプ）C<sub>1</sub>タイプ・自分の好きな遊びで満足している。C<sub>2</sub>タイプ・自分から遊びを見つけ遊んでいく。C<sub>3</sub>タイプ・自分から遊ぼうとしないが友達の行動を見て遊ぶ。

上記のA・B・Cタイプは、遊びの分類を示すものではなく、個々に活動していても同じ遊びの中においても、同じような行動をとる子どもとしてとらえた。

### 2、幼児のタイプと活動の展開

すでに本園で一年間の園生活を経ている二年保育五歳児は、入園当初の個性がそれぞれ違ったかたちで現われ

表1 ( ) 環境準備 ⇒ 教師の働きかけ → 幼児の反応 → 遊びに対する興味関心



てくる。園生活によってそれぞれの個性が発展したとすれば、その相違は大きくなってはいるはずであり、集団に慣れたために互いに協調する面もみられるようになる。

子どもの個性がよく発揮されると、それぞれ互いに影響を受け合い、他のクラスとも関係をもって集団全体の活動が発展する。このような変化がどのように起ってくるかを、木工遊びから船づくりの活動過程を事例的に追求した。

子どもの言動及び環境とのかわりを中心を観察した記録をまとめたのが、表2である。グループの分類はさまざまな形態において、いろいろな遊びや活動で見られた子どもの構成メンバーを集約し、男女 1グループと他の1グループの3グループとした。(A・C)更にCグループを4つのタイプに分けた。(注・四歳児の子どものとは異なる。)

Aグループ 遊びや活動に意欲的であり、反応も速いが、途中で他の活動に移行しやすい。特にテレビ漫画の主人公になって遊具や用具を乗り物に見立てて遊ぶこと

を好む。興味や関心のあることは満足するまでやり、ひとつの遊びに固執する。自己を押し通したり感情の起伏が激しい。

Bグループ 身近な素材を利用してままごとやごっこ遊びを好み、役を分担し遊びが持続するが、同じ遊びの繰り返しである。特定の子とも遊ぶことが多いが、他の子どもも受け入れて一緒に遊びや活動に取り組める。自分なりに活動に対する目的や見通しがもてる。

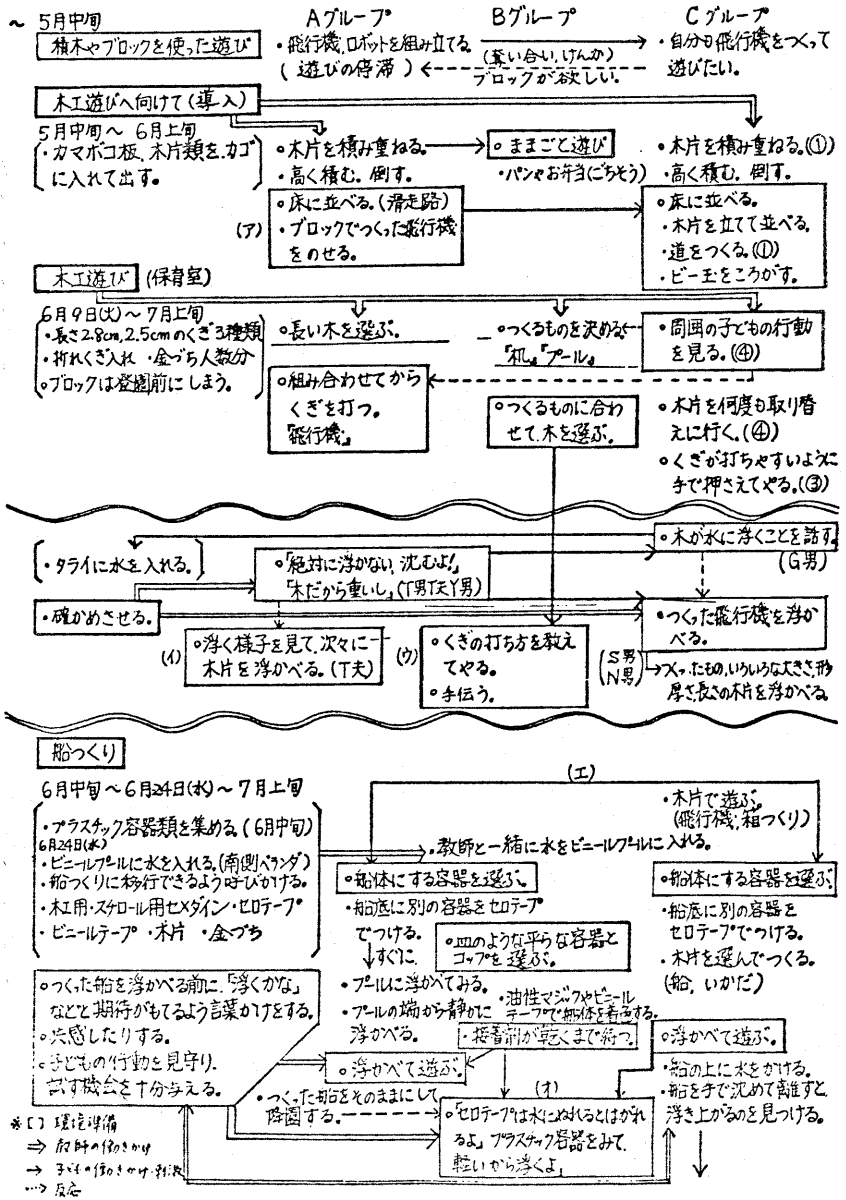
Cグループ ①独りでいることを好み、興味をもっとじっくり取り組みやり通す。②遊びや活動に直接かわらないことも多いが、自分で遊びを考え工夫していくことができる。③教師や友達の動きを意識しやすく困難なことにぶつかるとあきらめてしまう。④周囲の子どもの遊びに参加することはほとんどみられない。消極的である。

### 3. 活動の展開と保育者の役割

公立幼稚園の一年保育五歳児は、入園以前に他の園生

対象児 足立区立文田幼稚園  
表2. 2年保育の歳児 27名

時期  
平成26年4月～7月



活を経験している子どもと、園生活の経験が全くない子どもとがいる。月齢は同じであっても二年保育五歳児とは違った行動もとり、行動の仕方には大きな違いがある。この違いに重点をおいて観察を進めた。また、一年保育五歳児のそれぞれの子どもの自発活動が、総合的なごっこ遊びに展開する過程を分析し、背景となる子ども生活経験と保育者の役割を追求した。

園生活に慣れてきた6月上旬頃になると、個々や数人のかたまりでそれぞれ違った遊びをするようになってきた。数名の子どもの粘土遊びがきっかけとなり、学級全員が同じ遊びに参加し遊園地ごっこに発展した。遊園地ごっこを含めその前後の遊びへの一連の遊びの記録をまとめたのが、表3に示している。

#### 4、子どもの個性と集団活動についての考察

以上、三つの観察から明らかになったことは、入園当初でも、また一年保育を経験したのちでも（年齢や園生活の長さとは関係なく）個々の子どもの行動は多様で、

それぞれ違いがある。しかし、その中に共通性を捉えようとして観察したとき、三つのタイプのあることが分かった。これを便宜的にそれぞれA・B・Cタイプとした。

入園当初の四歳児、入園してわずか2週間の子ども行動観察から、子どもが園という新しい環境（園の施設・遊具など）を受け入れ、自分から遊びを起こしていくときの集団の進行状態が明らかになった。

二年保育五歳児の観察では、子どもが積極的に活動していく状況の中で、Aタイプの行動は活発に個性を発揮していてめだつ。その時Bタイプ、Cタイプは一見めだたないように見える。しかし園生活を経るにつれて、Bタイプ、Cタイプの子どもの個性が次第に発揮されてくる。BタイプCタイプの活動への参加の仕方は、明らかにAタイプとは違っている。また、このような傾向は固定したものではなく、これまでを経験した遊具や活動、あるいは、その子どもがその遊具や活動に特に自信がある場合には、BタイプCタイプでもAタイプのような積極的な行動を現わし、Aタイプと同じような反応がみら

表3

活動	幼児の活動の流れ	他が活動からの刺激
<p>粘 土</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カーボックスや大型・中型積木を組み合わせ、次のようなものを作った子どもがいた。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             飛行機、ロケット、ジェット機 (□・■・□・□)         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             家 (○・○・○)         </div> </div> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>粘土を二倍、たたくなどして一人一人が十分に遊ぶ。</li> <li>○□と□が机の上の、すでに粘土ののりまきを見ておねほじめ円柱状(直径約23CM、高さ約30CM)のものを作り、その下の方にひも状に作った粘土を何本もつける。円柱の上の方にはところどころ指をさし込んで穴を作る。</li> <li>□が○と□の作っている様子を見て何を作っているのか聞く。たこの形をしたマンションだということを知ると□も仲間に入る。</li> <li>スケート場、駐車場、階段、レストラン、おべり台、スカルターなども粘土で円柱につなげて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さくら組が北側ベランダで粘土遊びをしている様子を見る。</li> </ul>
<p>遊 園 地</p>	<p>と考えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達と一緒に粘土遊びをすると、たまりばではいはいや大きなものも作ることができることを知らせたいと思い「エニエニエホテル」を待機全体で見る。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>横につけていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近くの机で歌を作っていた○と□の遊びを見ている□がマンション作りの仲間に入り、アールを作ること提案する。アール作りが始まり、マンションにはアールは無いがホテルにはアールがあるということから「たにエニエニエホテル」と作っているもの名前をかえる。</li> <li>人さし指を人間に見たてて粘土で作った「たにエニエニエホテル」の上で指を動かして遊ぶ。</li> </ul> </div> <p>↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○□□□が作ったエニエニエホテルを待機全体でみる。作った子どもたちからホテルのいろいろな場所の説明をする。</li> <li>見ていた子どもたちから、そのホテルについてみたという会話が聞かれる。</li> </ul> </div> <p>↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>粘土で「エニエニエホテル」を作っていた子どもを念めいくらの子どもが前日の遊びの続きを遊戯室で始める。(カーボックスからトランポリンに飛びおりの遊び)</li> <li>保育室でレストランをやっていた子どもたちが遊戯室に、道具を運ぶ。再び店開きする。</li> <li>教師がおべり台を出すと、レストランでお金として使っていたプラスチックの板を持って遊園地の入場券にして売り始める子どもが出てくる。</li> <li>積み木とテープを使った「わなび」をするところへ、遊戯室の広くおいている場に入場券を渡り取るところだけを作ったスケート場などができる。</li> <li>入場券を毎回買って、乗り物に乗って遊ぶ。</li> <li>他の組の子と、年少児にも貸してあげる。</li> </ul> </div> <p>↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             お店エニエニエに発展する         </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>粘土遊びの後、カーボックスやトランポリンを組み合わせて遊ばせたい。</li> <li>明日も遊びたいという子どもの要求から遊んで来た遊んで来たのことでおこす。</li> <li>さくら組が、北側ベランダに、色々なお店をお客さんとお客さんといっている。遊園地で遊ぶおべり台に、王冠のお金を持ったさくら組の子どもが真ん中に行く。</li> </ul>

れることが分った。

一年保育五歳児では、子どもの行動のタイプが固定することは少なくなり、その行動のタイプは更に遊びの種類や遊具、材料、教具等によって、大きく変化することが分った。一人一人の子どもがいろいろな行動やタイプを見せながら、集団に慣れるようすが明らかに分った。

また、入園当初の四歳児、一年二年保育をとわず、五歳児でも、子どもの集団の中に、タイプに応じた少くなくとも三種類以上の遊びが同時に併行して起っていることが、子どもの自発活動を促しやすいことが明らかになった。さまざまなタイプの子どもがそれぞれに自信をもって行動すれば、役割分担を自発的に起すことが出来るということも分った。もし、入園当初から子どもにまったく同じ活動を展開させようとするれば、Aタイプの子どもに合わせて保育が展開されるであろう。また、Aタイプの子どもをいつもリーダー的に扱ってしまうことになり、従って子ども間の役割分担は保育者が与えるものでしかないことになるであろう。私達の保育を見つめ直

すとき、このような画一的な保育を行っていないとは言えない。

#### 四、まとめ

個々の子どもの自発性を尊重することと、集団活動を展開させることは、しばしば相反することのように考えられている。子どものタイプと集団活動を分析するとき、この両者を同時に保育の中で実践していくことは、可能ではないかと考える。

また、違った活動を同時に起こし、個々の個性を發揮させながら、集団を育成していく保育形態が重視されなければならぬと言える。

(東京都足立区立大谷田幼稚園)

#### 参考文献

- 足立区立大谷田幼稚園研究集録1・2集(一九八〇―八一年)
- 日本保育学会第三十一回大会研究論文集(一九七八年)
- 倉橋惣三「幼稚園真諦」
- 児童心理 特集・就学前教育(一九八〇年十二月号)
- 中沢和子「イメージの誕生 ○歳からの行動観察」